

第3回三陸沿岸道路利活用戦略会議

- **三陸沿岸道路利活用戦略会議について**
- **各自治体の課題と取組**
- **今後の連携施策の可能性**
- **広域連携・連携支援の紹介**
- **今後のスケジュール**

三陸沿岸道路利活用戦略会議について

<事業中(H23~)>

『宮城県復興道路会議』

- 目的 ・ 一日も早い完成に向け円滑に事業を進める
- 内容 ・ 関係者に対する事業進捗への合意形成
・ 関係者の連携による課題解決

「道路の整備」から「利活用のフェーズ」に移行

<開通後(R3~)>

『三陸沿岸道路利活用戦略会議(宮城県)』

- 目的 ・ 三陸沿岸道路の全線開通を三陸沿岸エリア全体としての更なる地域活性化につなげる
(関係者が連携できる場(プラットフォーム)の構築)
- 内容 ・ 三陸沿岸道路沿線における動向等に関する情報共有
・ 三陸沿岸道路を活用した地域活性化策の検討・実施

三陸沿岸道路利活用戦略会議

①三陸沿岸道路沿線における動向等に関する情報共有

- 自治体やゲストからの話題提供
(企業立地や産業活動、観光、施策実施状況 等)

②三陸沿岸道路を活用した地域活性化策の検討・実施

- 個別プロジェクトの企画、実施
(国交省で支援可能な施策メニュー紹介、自治体からの提案 等)

個別プロジェクトWG

希望自治体の担当者による
WGを立ち上げ機動的に推進

取り組み結果の
報告・共有

■産業

【企業誘致・立地】

- 優れた交通アクセスをセールスポイントに企業立地ガイドを企業誘致活動の際に活用（石巻市）
- 「ひびき工業団地」で9社立地、「柳の目北工区」3社協定締結済み（東松島市）
- 業務用音響機器輸入及び販売を行う企業が進出（女川市）

【水産業】

- 全線開通により陸前高田市、大船渡市の業者も仙台圏に流通できるようになった（気仙沼市）
- 水産物を高鮮度で都市圏へ供給できるようになった（気仙沼市）
- ICチェンジの近くをハブとして、広範囲で圏域を超えた共同配送の可能性あり（気仙沼市）

【雇用】

- 通勤圏の範囲が広がり、雇用面でも効果（女川市）

■観光

【観光・周遊】

- 「みやぎ・いわて三陸道ドライブスタンプラリー」を開催（宮城県）
- 気仙沼市内の内湾地区から大島までのポタリングを実施（宮城県）
- 地域部会の立ち上げ、沿岸部と内陸部を結ぶルートを検討（宮城県）
- トヨタレンタリース宮城と連携したレンタカーの割引プランを販売（仙台市）
- 道の駅間の情報交換、イベント等の連携開催が可能となった（南三陸町）

【教育】

- 「伊達な広域観光推進協議会」を設置・運営しており、修学旅行の誘致を実施し、関西、中部圏の旅行会社や学校で復興道路を活用した修学旅行の行程を組み合わせた事例がある（仙台市）
- 松島町へ訪れる教育旅行プログラムでは、仙台・石巻・三陸・平泉方面へも訪問し、旅行時間の短縮は教育旅行の誘致に更なる効果が出ている（松島町）

【拠点・施設】

- 道の駅三滝堂は平成29年4月にオープンし、三陸沿岸道路の全線開通後は県内ナンバーの車が以前より増えており、売り上げ・利用者の増加につながっている（登米市）
- 交通結節機能を有する道の駅が供用開始され、地域連携機能の強化が期待（南三陸町）

【広報】

- 沿線自治体等の観光コンテンツを発信するウェブサイトを令和4年10月から立ち上げて公開（仙台市）
- 目的地まで分かりにくいため、「るるぶ特別編集『三陸』」を作成（気仙沼市）